

# 日本民家園 花便り 11月号 (2)

## ～暮らしと植物～



ツワブキ 石落・艶落 三澤家ほか  
‘ふきのとう’と同じキク科ですが、花の形も花期も異なります。ツワブキも食用にすることができ、沖縄では年越し料理に欠かせない具だそうです。調理の前にアク抜きが必要！



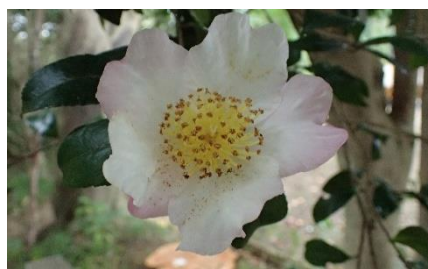
ダイモンジソウ 大文字草 三澤家  
名前の由来は、花が「大」の文字に似ているからです。水しぶきがかかるような岩場や水辺近くに自生し、春の柔らかなものは酢の物などにして食べることから「岩菜」とも呼ばれています。



コウヤボウキ 高野箒 道祖神土手ほか  
高野山では竹の植栽が禁じられていたため、この植物の枝を束ねて箒を作ったそうです。正倉院の宝物のなかの「玉箒（正月に蚕室を掃き清める儀式で用いた箒）」はコウヤボウキを材料としたもの。



リュウノウギク 竜腦菊  
正面入口斜面



サザンカ 山茶花  
原家ほか



ヤクシソウ 薬師草  
工藤家ほか